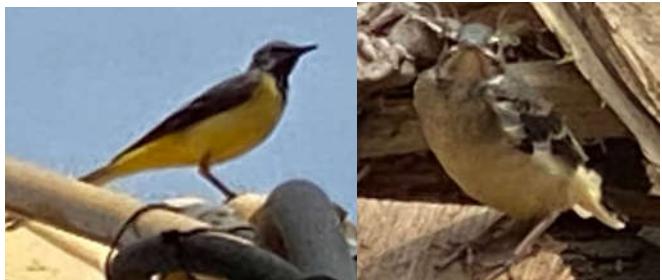




環境経営レポート



キセキレイの親子(毎年春施設内に営巣)

(2021年10月～2022年9月)



2022年12月23日

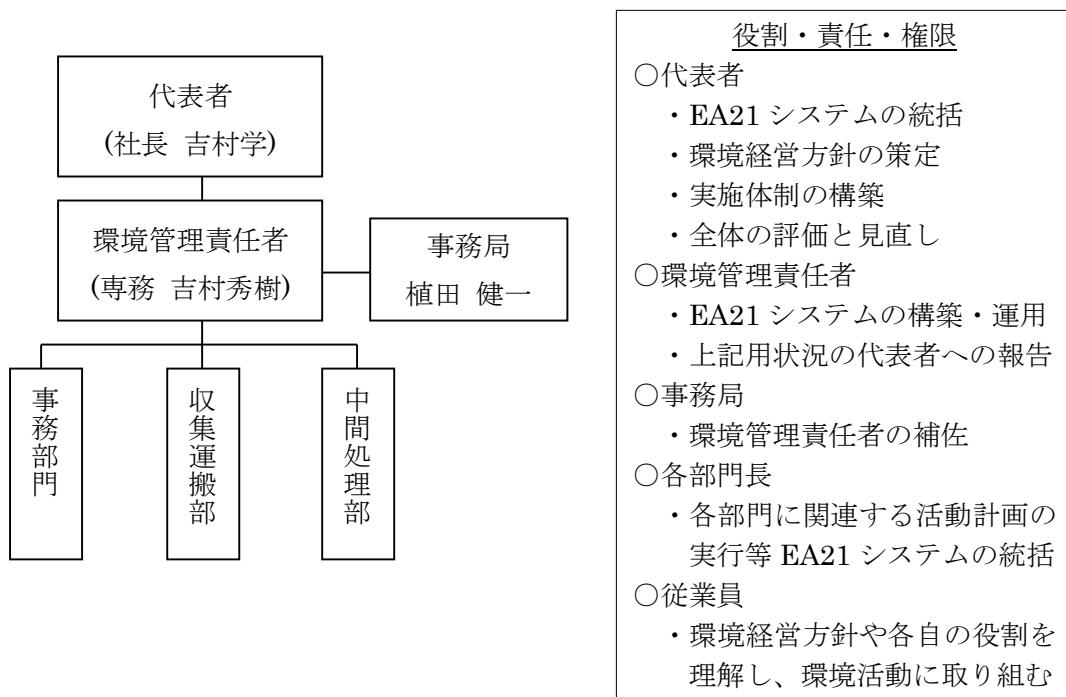


yoshimura kankyou seibi

ヨシムラ環境整備株式会社

1. 組織の概要

- (1) 事業者名：ヨシムラ環境整備株式会社
(2) 代表者：代表取締役 吉村 学
(3) 設立：昭和 55 年（1980 年）10 月 1 日
(4) 資本金：320 万円
(5) 所在地：
本社・工場：広島市安佐北区安佐町大字久地字堀切山 10625 番地 10 他
(6) 事業内容：
産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、一般貨物自動車運送事業
(7) 事業の規模
①売上高および工事件数等
- | 項目 | 単位 | 2021 年度 |
|----------|-------|---------|
| 売上高 | 百万円 | 140 |
| 産業廃棄物処理量 | 収集・運搬 | トン |
| | 中間処理 | トン |
| | | 1609 |
| | | 1506 |
- （注）事業年度：10 月～翌年 9 月（エコアクション 21 運用年度も同じ）
②従業員数：9 人
③床面積：本社事務所 29 m²、工場・作業所等 1802 m²
- (8) 連絡先：環境管理責任者 吉村 秀樹 (TEL:082-837-1841)
(9) 組織図



2. 対象範囲（認証登録範囲）

全組織・全活動を対象範囲とします。

3. 環境経営方針

本業である廃棄物処理を適正かつ安全に行うとともに、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境影響に配慮した事業活動の継続的改善

- ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ②中間処理業務における再資源化率の向上に努めます。
- ③節水、グリーン購入に努めます。

2. 法規則等の遵守

事業に関する諸法令、規則、地域協定を順守し廃棄物の適正処理に努めます。

制定日： 2015年1月20日
改定日： 2020年10月1日

代表取締役社長 吉村 学

4. 環境経営目標、環境経営計画、環境経営目標の実績

(1) 環境経営目標

環境への負荷の自己チェックの結果などを踏まえ、「環境経営目標」を以下のとおり定めました。

また取扱量の増減による電気及び化石燃料使用量の変動に伴う二酸化炭素排出量の増減に対応するため、当該項目において取扱量の単位あたりの目標値を設定することとします。

目標設定表

項目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電気使用量の削減 [基準: 5.610 kwh/t]		△4% 5.386 kwh/t	△5% 5.330 kwh/t	△6% 5.273 kwh/t	△7% 5.271 kwh/t
化石燃料 使用量の 削減	ガソリン [基準: 3.338 ℥ /t]	△4% 3.204 ℥ /t	△5% 3.171 ℥ /t	△6% 3.138 ℥ /t	△7% 3.104 ℥ /t
	軽油(処分業) [基準: 4.271 ℥ /t]	△1% 4.228 ℥ /t	△2% 4.186 ℥ /t	△3% 4.143 ℥ /t	△4% 4.100 ℥ /t
	軽油(収運業) [基準: 26.479 ℥ /t]	△4% 25.420 ℥ /t	△5% 25.155 ℥ /t	△6% 24.890 ℥ /t	△7% 24.625 ℥ /t
電気及び化石燃料使用に伴う 二酸化炭素排出量の削減 [基準: 85.316 kg-CO2/t]		△4% 81.903 kg-CO2/t	△5% 81.050 kg-CO2/t	△6% 80.197 kg-CO2/t	△7% 79.344 kg-CO2/t
再資源化率の向上 [基準: 72%]		△4% 80 %	△5% 82 %	△6% 84 %	△7% 86 %
節水 [基準: 65 m³]		△4% 62 m³	△5% 61 m³	△6% 61 m³	△7% 60 m³
グリーン購入の推進		5品目以上	5品目以上	5品目以上	5品目以上

(注) 1. 電気使用量削減の基準値は 2017 年度同期間の実績値を同年中間処理量 (=1,724.4589t) で除した値、化石燃料使用量(軽油(処分業)を除く)の削減基準値は 2017 年度実績値を同年収集運搬量 (=1,584.1295t) で除した値、節水の基準値は 2017 年度実績値とした。軽油(処分業)は 2020 年度同期間の実績値を同年中間処理量 (=1,743.6626t) で除した値とした。なお「電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量の削減」の目標値算出は、下記[表 1]の通りとした。

2. 一般廃棄物は、排出量が少ないとから削減目標は設定していないが、分別等の取組は徹底することとしています。
3. 化学物質は使用していません。

【表 1】基準年（2017 年度）における二酸化炭素排出量の原単位評価指標の設定

基準年：2017 年度	実数	原単位指標
電気からの二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂) ※	6,469.899	3.75184
中間処理量 (t)	1,724.4589	
化石燃料からの二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂)	129,207.819	81.56392
収集運搬処理量 (t)	1,584.1295	
□二酸化炭素排出量の総量 (Kg-CO ₂)	135,678	85.316

※中国電力の 2017 年度排出係数 0.677 kg-CO₂/kWh を用いて設定した。

(2) 2021年度の環境目標達成状況

項目	単位	目標値	実績	評価
電気使用量の削減	Kwh/t	5.386	8.825	×
化石燃料使用量 の削減	ガソリン	3.204	1.168	○
	軽油(収運業)	25.420	22.073	○
	軽油(処分業)	4.228	7.118	×
電気及び化石燃料 使用に伴う二酸化 炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /t	81.903	80.330	○
再資源化率の向上	%	80	74	×
節水	m ³	62	101	×
グリーン購入の推進		5品目以上	5品目	○

上記、電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績は、80.330kg-CO₂/tとなり、目標値 81.903kg-CO₂/tに対し、98.08%との結果となった。(購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の2017年度の調整後排出係数 0.677kg-CO₂/kwh を使用した。) また、実績値の算出については下記[表2]を参照のこと。

【表2】各項目の原単位評価指標への変換

2021年度	実数	原単位指標
(a) 電気からの二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂)	8,998.01	(a)/(b)=
(b) 中間処理量 (t)	1,506.0918	(A) 5.01752 (Kg-CO ₂ /t)
(c) 化石燃料(処分)からの二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂)	27,657.60	(c)/(b)= (C') 18.36382 (Kg-CO ₂ /t)
(d) 化石燃料(収運)からの二酸化炭素排出 量 (Kg-CO ₂)	95,994.53	(d)/(e)= (C'') 59.65854 (Kg-CO ₂ /t) (C')+(C'')=
(e) 収集運搬処理量 (t)	1,609.066	(C) 78.02236 (Kg-CO ₂ /t)
□二酸化炭素排出量の総量 (Kg-CO ₂)	132,650.14	(A)+(C)=80.32980 (Kg-CO ₂ /t)
(f) 電気使用量 (kwh)	13,291	(f)/(b)=8.82483 (kWh/t)
(g) ガソリン使用量 (ℓ)	1,879.61	(g)/(e)=1.16814 (ℓ/t)
(h) 軽油(収運業)使用量 (ℓ)	35,516.99	(h)/(e)=22.07305 (ℓ/t)
(i) 軽油(処分業)使用量(ℓ)	10,720.00	(i)/(b)=7.11776 (ℓ/t)

5. 主要な環境活動計画の内容と取り組み結果の評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境目標の項目毎の環境活動計画の内容と取り組み結果の評価を以下に示します。

(1) 電気使用量の削減

目標達成出来なかった。

引き続き電気使用量削減に取り組む

- ① エアコンの設定温度管理(冷房 28 度、暖房 20 度)
- ② エアコンフィルターの清掃(年 2 回以上)
- ③ 不要照明の消灯、PC サーバーの電源管理

(2) 化石燃料使用量の削減

概ね達成できた。

- ・ガソリン(営業車)

低燃費車を採用し効果が出た。引き続きエコドライブを心掛ける

- ・軽油(収運業)

「ふんわり e スタート」などエコドライブを実践した効果が出た。引き続きエコドライブ、運搬ルートの効率化による燃料使用量削減に取り組む

- ・軽油(処分業)

作業の開始・合間など不必要なアイドリングが多く目標達成できなかつた。
アイドリング(暖機・冷却運転)夏場 1 分、冬場 5 分程度に抑える。

(3) 産業廃棄物再資源化の徹底

目標達成できなかつた。

前年対比では 4 ポイント上昇しているが目標値である 80% を達成できていない。
更なる分別の徹底と新規リサイクルルートを開拓する

(4) 節水

目標達成できなかつた。

破碎機の粉じん対策で使用する水量調整するなど工夫する

(5) グリーン購入の推進

目標値は達成した。

引き続きグリーン購入に取り組むこととする。

(6) その他の活動

《具体的な活動内容の一例》

【中間処理施設公開】



(他社中間処理業者さま来社)

【収集運搬車両書面備え付け、日常点検】

【書面備付け】

- ①産業廃棄物収集運搬業許可証
 - ・広島市
 - ・岡山県
 - ・広島県
 - ・鳥根県
 - ・山口県
 - ・鳥取県
 - ②JWNET加入証
 - ③マニフェスト
 - ④日常点検表(運転者が実施する事)
 - ⑤運搬車両一覧表

広島130-8800

吉村 秀樹

(運搬車両ごと書面備え付け) (車両日常点検、業務日報)



(運搬車両タイヤ空気圧管理表) (運搬車両検問記事)



(アルコールチェック:乗務前、乗務後)

【事務所内掲示物】



(運輸マネジメントの取り組み) (運行管理者資格者証)

【産廃収集運搬車両 兼 一般貨物自動車運送事業登録車両】



(産廃収集運搬車両表示)



(小型移動式クレーンダンプ仕様)



(小型移動式クレーン仕様)

(7) 次年度(2022年度)の環境経営目標及び環境経営計画

項目	単位	目標値	環境経営計画
電気使用量の削減	kwh/t	5.33	①エアコン設定温度の管理（事務所） ※冷房28度、暖房20度 ②エアコンフィルターの清掃（年2回以上） ③不要照明の消灯 ④断熱遮熱の推進
化石燃料 使用量の 削減	ガソリン	ℓ /t	①営業ルートの効率化
	軽油(処分業)	ℓ /t	①破碎機及び重機の省エネ運転
	軽油(収運業)	ℓ /t	①ふんわりスタートの実施 ②車両の日常点検の励行
再資源化率の向上	%	82	①分別の徹底
節水	m³	61	①業務全般に渡る節水
グリーン購入の推進	-	5品目以上	①購入品の調査・リスト作成 ②エコマーク商品調査 ③グリーン購入対象商品の特定・目標設定

6. 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制は廃棄物処理法です。遵守評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間、当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの指示

各目標設定地に対して大きく乖離がある項目については、現実に即した新たな目標設定を検討すべきではないか。

現状での仕事量、取扱品目を考えれば各項目の実績値は妥当と考える。

8. 廃棄物処理業に関する情報

(1) 許可の内容

①一般廃棄物

なし

②産業廃棄物

a 許可品目

許可品目	収集運搬業(上段:許可年月日 下段:有効年月日)						処分業 広島市
	広島市	広島県	山口県	岡山県	島根県	鳥取県	
	2018/10/12 2025/10/11	2018/11/24 2025/11/23	2019/10/13 2026/10/12	2018/10/1 2025/9/30	2018/9/5 2025/9/4	2018/9/1 2025/8/31	
燃え殻	○	○	○				
汚泥	○	○	○	○	○	○	
廃油	◎	○	○	○	○	○	
廃酸	○	○	○				
廃アルカリ	○	○	○				
廃プラスチック類	◎	○	○	○	○	○	○
紙くず	◎	○	○	○	○	○	○
木くず	◎	○	○	○	○	○	○
繊維くず	◎	○	○	○	○	○	○
ゴムくず	◎	○	○	○	○	○	○
金属くず	◎	○	○	○	○	○	○
ガラスくず等	◎	○	○	○	○	○	○
がれき類	◎	○	○	○	○	○	

○: 積替保管を含まない

◎: 積替保管を含む

b 許可番号

管轄	許可の種類	許可番号
広島市	産業廃棄物収集運搬業(優良)	07310010149
	産業廃棄物中間処理業(優良)	07320010149
広島県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03409010149
山口県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03500010149
岡山県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03301010149
島根県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03200010149
鳥取県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03104010149

c 事業の区分

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物中間処理業 中間処理(破碎)

一般貨物自動車運送事業

(2) 施設等の状況

①設備概要

車両台数

車種	台数	備考
8t脱着装置付コンテナ車	2 台	
8tクレーン付ダンプ車	1 台	
3t脱着装置付コンテナ車	1 台	
3tクレーン付パワーゲート車	1 台	18年度増車
3tパワーゲート車	2 台	20年度増車
1.5tパワーゲート車	0 台	21年度減車
合計	8 台	なお別途営業車両1台あり

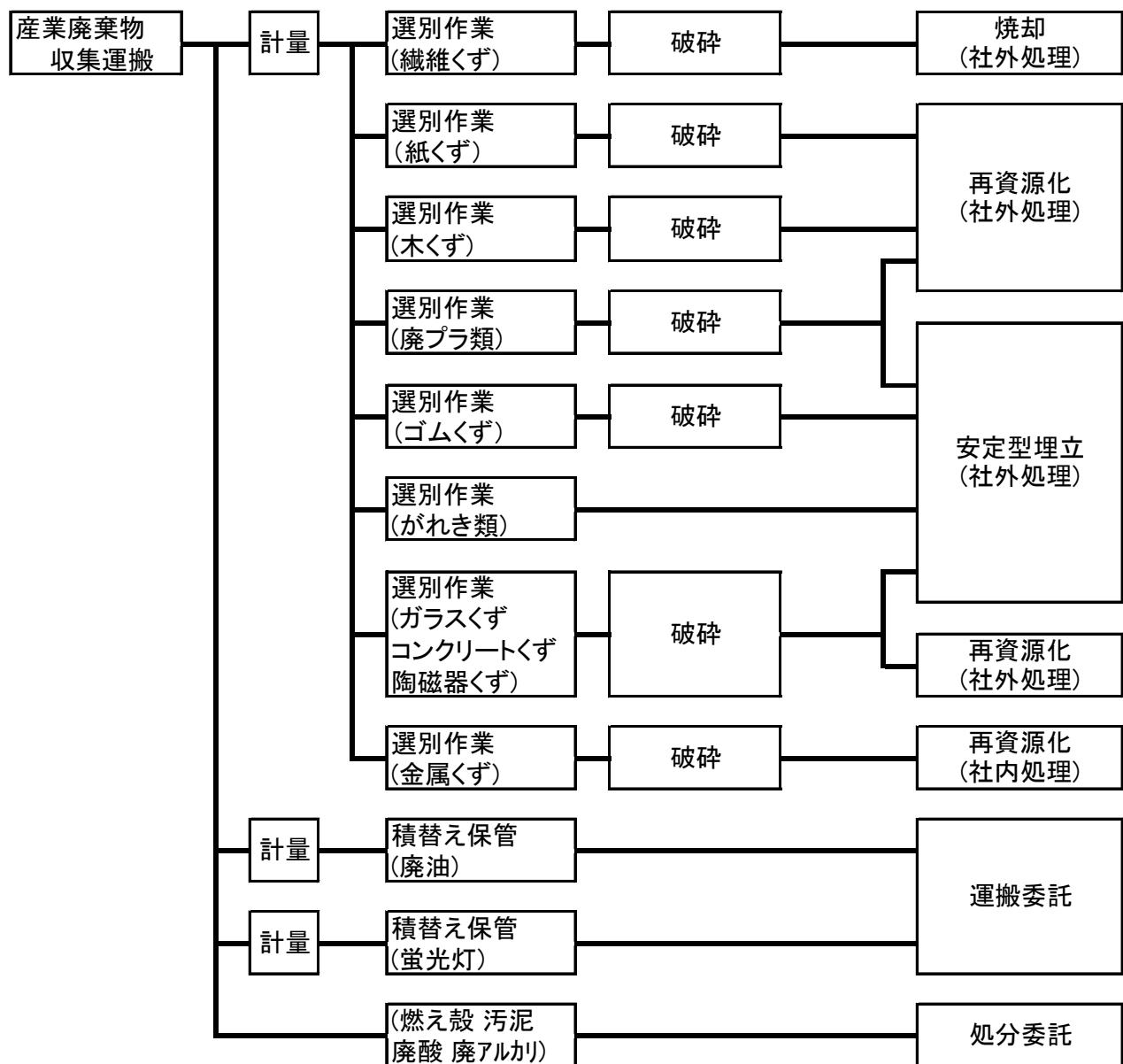
主要設備

名称	台数	備考
2軸せん断破碎機	1 基	20年度更新
40t トラックスケール	1 基	
2tフォークリフト	2 台	20年度減車
0.25m ³ バックホウ	3 台	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限量	備考
ヨシムラ環境整備(株)	64.15 m ³	95.84 m ³	

処理工程図



(注) 処理能力は、廃プラスチック類 4.83t/日、紙くず 4.21t/日、木くず 4.86t/日、繊維くず 2.81t/日、ゴムくず 4.60t/日、金属くず 4.83t/日、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず 4.61t/日 (8H)

(3) 処理実績

② 受託した産業廃棄物の処理量

2021年度（2021年10月～2022年9月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i)収集運搬	コンクリートくず		0
	廃油		33.29
	金属くず		650.03
	ガラス陶磁器くず		15.04
	紙くず		39.33
	廃プラ類		728.024
	木くず		86.26
	繊維くず		0
	ゴムくず		0
	がれき類		54.12
	燃えがら		0
	汚泥		0
	廃酸		0
	廃アルカリ		0.46
	石綿含有廃棄物		0.18
	水銀使用製品産業廃棄物		2.332
収集運搬量合計			1609.066
(ii)中間処理	コンクリートくず	破碎	0.17
	金属くず	破碎	666.461
	紙くず	破碎	18.97
	廃プラ類	破碎	733.8658
	木くず	破碎	86.625
	繊維くず		0
	ゴムくず		0
	金属くず		666.461
	廃プラ類		344.1
	コンクリートくず		0
うち 再資源化等	紙くず		18.97
	木くず		86.625
再資源化等量小計			1116.156
中間処理合計			1506.0918
(iii)最終処分			0
			0
			0
			0
最終処分量合計			0
(iv)中間 処理後の 産業廃棄 物	最終処分	廃プラ類	389.7658
		コンクリートくず	0.17
		ゴムくず	0
		繊維くず	0
	再資源化等	金属くず	666.461
		廃プラ類	344.1
		コンクリートくず	0
		紙くず	18.97
		木くず	86.625
	再資源化等量小計		